ピジョンクラウド 入門ガイドブック



株式会社ロフタル

ピジョンクラウドでできること

業務に合わせたテーブルを作成

業務に合わせてテーブルを作成できます。テンプレー トから作成したり、自分でカスタマイズを自由に加え ることができます。

データを一元管理

様々なデータフォーマットに対応しており、データを 一元管理することができます。ブラウザから複数ユー ザーで共有することができます。

ピジョンクラウドで作るデータベース例







プログラミング不要



設定画面から設定を行うことで誰でも データベースが作成できます。

データのエクスポート(出力)と、インポート(入力)



CSVでエクスポート・インポートができる ためエクセルで作成したデータを使うこ とができます。

拡張可能



APIが用意されているので、外部連携や拡 張が可能です。 まずは無料登録から、 データ登録までやってみましょう。

さっそく使ってみよう!!



ログインする

指定ID/PASSでログインします。

on Cloudロクイン
to your account
xxxx@xxxx.com

gin



メニューの構成



テーブルを作成する

「商品管理」テーブル(データセット)を作成します。



データセット名 *	商品管理
■ 追加オプション設定	
● フィールドを追加する	
■ フィールド一覧	
フィールドがありません。	
✔ 登録	

テーブル名を入力します。ここ では「商品管理」としましょ う。 「フィールドを追加する」を選

択します。

項目

データセットのひとつひとつの 項目です。エクセルで言うと各 列です。

テーブルを作成する

「商品管理」テーブルのフィールド(項目)を作成します。

フィールドの種類を選択します「追加」を選択します。 ここでは「文字列(一行)」を選択しましょう。

項目追加	×
這 自動採番	🖋 文字列(一行)
☞ 文章(複数行)	山 数値
🛇 Yes / No	● 選択肢(単一選択)
☑ 選択肢(複数選択)	●日時
■ 画像	𝔅 ファイル
田 他テーブル参照	■ 計算
田 関連レコード一覧	☺ 固定テキスト

項目名に「商品名」と入力します。 種類は「テキスト」のままで大丈夫です。 「追加オプション設定」をクリックしてください。

項目追加		×
項目名 *		
種類 ※ 値の重榎	● テキスト ○ メールアドレス ○ URL □ 値の重榎を禁止する	
Ξ 追加オプション設定		
N	キャンセル 項目選択 追加する	

テーブルを作成する

「必須項目にする」にチェックを入れます。

 必須設定 □ 必須項目にする 一番下の「追加する」で追加完了です。 	★ 追加オプ	ション設定			
一番下の「追加する」で追加完了です。	必須設定			□ 必須項目にする	
一番下の「追加する」で追加完了です。					
最大文字数	一番下の「追加す	する」で追加完了 ^{最小文字数} ^{変の場合無し} 最大文字数 ^{次の場合年1}	~ です。		
全の場合無し 検索高速化(インデックス) □検索高速化(インデックス)する *高速化される代わりにデータのサイズ を余分に使用しますのでご注意下さい。		全の場合無し 検索高速化(インデックス) *高速化される代わりにデータのサイズ を余分に使用しますのでご注意下さい。	□ 検索高速化(インデックス	ス) する	
キャンセル 追加する				キャンセル 追加する	



テーブルを作成する

同じ手順で、「仕入金額」「金額」のフィールドも追加してみましょう。 今度は「文字列(一行)」ではなく「数値」なので、そこだけ注意してください。

フィールド名	フィールドタイプ	必須かどうか
仕入金額	数值	必須
金額	数值	必須

フィールドの追加が終わったら「登録」と「追加」を押します

nak mén		
オフション設定		
 :送加する	A	
8	本当に追加してもよろしいですか?	
金額	٥	キャンセル 追加する
	<u> </u>	
	キャンセル ダ 登録	
	商品管理 合計 0 件	© B
	商品管理 合計 0 件	0
= + =• Q S (m⊈=-	商品管理 合計 0 件	(a) (b) (b) (c) (c)<
三 + 三- Q S 編集モー D ID Q	商品管理 合計 0 件 「	© 2 ~ 1
	商品管理 合計 0 件 M 回导検索 高品名 Q <i>F</i> -9(LBN)IIEL	 ③ ●
= + = Q Ø (#250- □ 10 Q ·	商品管理 合計 0 件 M 回帰検索 商品名 Q. デークはありません	 Image: Constraint of the second sec
	商品管理 合計 0 件 M 回复検索 商品名 Q. データはありません	 O O<



商品の情報を入力して「登録」を押してください。

5品名				
りんご				
比入金額				
160		•		
会額				
280		•		



商品情報が登録されました。

■ 商品管理 合	計 1 件		A B
+ ■ Q 2 編集モード 簡易検索			« 1 »
D ID Q 商品名 Q	仕入金額 Q	金額 Q	
□ 1 りんご	160	280	Q 🥒 🗰
- データの詳細確認	、編集、削除はこれ	らのアイコンから行	うこと
// ができます。			
		1000	
		L I	
~	2		
データの詳細を			7
ゆ 認する	テータを編集する	テータを削除する	5

計算フィールドを使ってみましょう。

商品の売上を計算するよ



計算フィールド

この章では、商品の売上を計算する「売上管理」データセットを作成します。

まず、売上の計算式を決めておきます。

売上 = 商品の金額 × 数量

上記の計算式の「商品の金額」は、前章で作成した商品管理データ セットから「参照フィールド」を使って参照します。





「参照フィールド」はデータセット同士を連携させるためによ く使うフィールドです。覚えておきましょう。

テーブル管理を選択し、メイン画面から「追加」を押します。テー ブル名は「売上管理」とします。 「項目を追加する」を押します。

 ユーザー情報編集 			テーブルタ ※	
_ 🛢 テーブル管理			, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	
嶜 ユーザー管理		L ン	■追加オプション設定	
■ 組織管理				
▶ 役職管 三	テーブル定義合計2件		●項目を追加する ● 権限設定(一度)	テーブルを保存する必要があります)
▲ 通知諸 ・ [■- 2 グループ編集			■項目一覧 > 編集	
▲ 権限設 全て展開 全て閉じる			項目がありません。	
🌣 その代 🗌 ユーザー				
 ○ 商品管理 ○ 商品管理 				

「他テーブル参照」を選択します。



①項目名:「商品」と入力
②対象テーブル:「商品管理」を選択
③表示項目:「フィールドから選択」を選択し、プルダウンで「商品名」を選択

		×	
田 他テーブル参	照		
項目名 ※	商品		
対象テープル 💥	商品管理	× •	
入力フォームにする(子要素機能)	□ 有効 ※有効にした場合、子要素に対する権限設定は無視されます。		
表示项目	商品名		
選択用表示項目 (空の場合は表示項目が表示されます)	{ID}: {名前}		
項目のコピー(ルックアップ)	# 前最名		
	応品名 *1 ※同じ項目タイブの項目にのみコピー。 *1 *1 *1 *1 *1 *1 *1 *1 *1 *1		
他の項目で値の絞り込みを行う	•		
他の項目で値の絞り込みを行う 表示条件			
他の項目で値の絞り込みを行う 表示条件	★		
他の項目で値の絞り込みを行う 表示条件 三追加オプション設定	★		
他の項目で値の絞り込みを行う 表示条件 <u>三追加オプション設定</u>	 + +条件を追加 X 追加オプション設定 		
他の項目で値の絞り込みを行う 表示条件 三 追加オプション設定	 ★ ★ 追加オプション設定 必須設定 	✔ 必須項目にする	
他の項目で値の絞り込みを行う 表示条件 <u>三追加オプション設定</u>	 ★ ★条件を追加 ★ 追加オプション設定 必須設定 必須条件・表示条件は一度保存後に設定可能で まージャウ 	✔ 必須項目にする	

「必須項目にする」にチェックを入れて、 「追加する」を押します。

10p-11pと同じ手順で、「日時」「数量」のフィールドも追加してみましょう。

フィールド名	フィールドタイプ	必須かどうか
日付	日時 ※「種類」は「日付の み」を選択	必須
数量	数値	必須





続いて、売上を計算するフィールドを追加します。 「フィールドを追加する」を押し、「計算」を選択します。

テーブル名 ※ 売上管理		項目追加	×
		╞ 自動採番	✔ 文字列(一行)
■ 追加オフション設定		☑ 文章(複数行)	山数值
◆項目を追加する ◆ 権限設定(一度テーブルを保存す)		♥ Yes / No	◙ 選択肢(単一選択)
■項目一覧 > 編:	\mathbf{r}	☑ 選択肢(複数選択)	曲日時
		▶ 画像	𝔄 ファイル
間前 ※		田 他テーブル参照	■計算
		田 関連レコード一覧	☺ 固定テキスト
口哇			

項目名に「売上」と入力し、「計算式」には以下のように入力し、 「追加する」を押します。

項目追加		{商品::金額}*{数量}
■ 計算		
項目名 ※	売上	
計算式 ※	{商品::金額}*{数量}	
計算値の自動更新 ※OFFの場合一度入力された値は自動的に更新されません	OFF	
計算値の種類	> 数値> 日付> 日時	
数値の形式	整数	
桁区切り	□ 桁区切りを表示しない	
単位記号表示		● 先頭につける ○ 末尾につける 例: ¥100 例: 30%
■追加オプション設定		
		キャンセル 項目選択 追加する

計算フィールド

計算フィールドと参照フィールドは以下のような構造になっていま す。



「登録」を押し、データセットの登録を完了します。

ーブル名 <mark>※</mark>	売上管理		
■追加オプション設定			
頁目を追加する	: (一度テーブルを保存する必要があります)		
項目一覧 🕻 編集			
商品 ※			
		•	
日時			
	曲現在		
数量		_	
		÷	
売上			
			キャンセル 🗸 登録



これで売上管理データセットが作成 されました。

それではデータの登録をしてみま しょう。メニューから「売上管理」 を選択します。



「追加」を押し、「商品」「日時」「数量」の値を選択・入力し、 登録を行います。

		■先上管理追加一覧 > 編集	
+ <u></u> =+ <u>Q</u>		商品 ※	
<u> </u> K	N	りんご	•
	\square	■ 2022/5/12 14:22 ■ 現在	
	$\overline{}$	奴置 2	٥
		売上	
			キャンセル 🗸 登録
			K

「売上」がちゃんと自動計算されてます!!

=		売上管理 合計1件						
+		2 編集モード	簡易検索			☆		
	ID Q	商品Q	日時	数量 Q	売上 Q			
	1	りんご	2022年05月12日 14:22	2	560	Q 🥒 🛍		



データをCSVでアップロードしましょう。

まとめてデータを 登録しよう。



既存のExcelファイルやCSV出力されたデータを取り込む事ができま す。 この章ではCSVでデータをまとめてアップロードします。

サイドメニューの「商品管理」を選択し、 メイン画面で「CSVアップロード」を選択してください。



まずは、CSVのテンプレートをダウンロードします。 「CSVダウンロード(空)」を押すとダウンロードすることができま す。



ダウンロードしたCSVファイルを、エクセルなどの表計算ソフトで開きましょう。下のように一行目だけ入力されたファイルを開くことができます。

ID(_id_)	商品名※(field1)	仕入金額※(field2)	金額※(field3)	更新日時(updated)	作成日時(created)
		こちらの1行目	は編集しない	ぃでください。	
2					

以下のように「商品名」「仕入金額」「金額」に値を入れましょう。IDは自動で採番され、更新日時、作成日時は自動で登録される ため、空白で良いです。

入力が終わったら保存してください。

<u>「.xlsx」ではなく「.csv」ファイルとして保存することに注意して</u> <u>ください。</u>

lD(_id_)	商品名※(field1)	仕入金額※(field2)	金額※(field3)	更新日時(updated)	作成日時(created)
	バナナ	50	100		
	オレンジ	75	120		
	グループフルーツ	150	170		
	いちご	400	450		
	レモン	70	130		



①さきほどの画面で、「ファイルを選択」を押します。
 ②作成したCSVファイルを開きましょう。
 ③「アップロードを押します。」



以下のポップアップが表示されます。

合計 6 件



しばらくするとアップロードが完了しデータが登録されます!

商品名 仕入金額	金額
レモン 70	130
いちご 400	450
クループフルーツ 150	170
オレンジ 75	120
パナナ 50	100
bんご 160	280

今度は一度アップロードしたデータをまとめて編集してみましょう。 先程と同じ画面で、「CSVダウンロード」を押して現在のデータをダ ウンロードします。

▲ CSVアップロード ×
 *CSVのヘッダー(1行目)は編集しないでください。 D列が空の行は新規データとして挿入されます。 D列に入力されているIDと同じIDのデータがある場合、データが更新されます。 更新日時、作成日時は自動更新されます。 他データセット参照のデータを更新する場合、参照するデータのID(追加オプション設定で設定している場合はそのフィールドの値)を入力してください。 ▲ CSVダウンロード ▲ CSVダウンロード ▲ CSVダウンロード(空)
キャンセル アップロード

ダウンロードしたファイルを開くと、以下のようになっています。 (ちゃんとIDや更新日付、作成日付が自動で入ってますね!)

ID(id)	商品名(field1)	仕入金額(field2)	金額(field3)	更新日時(updated)	作成日時(created)
6	レモン	70	130	2020-05-05 03:36:15	2020-05-05 03:36:15
5	いちご	400	450	2020-05-05 03:36:15	2020-05-05 03:36:15
4	グループフルーツ	150	170	2020-05-05 03:36:15	2020-05-05 03:36:15
3	オレンジ	75	120	2020-05-05 03:36:15	2020-05-05 03:36:15
2	バナナ	50	100	2020-05-05 03:36:15	2020-05-05 03:36:15
1	りんご	160	280	2020-05-04 16:52:20	2020-05-04 16:52:20

CSVファイルを以下のように編集します。

ID(id)	商品名(field1)	仕入金額(field2)	金額(field3)	更新日時(updated)	作成日時(created)
6	レモン	70	130	2020-05-05 03:36:15	2020-05-05 03:36:15
5	いちご	400	450	2020-05-05 03:36:15	2020-05-05 03:36:15
4	グループフルーツ	150	170	2020-05-05 03:36:15	2020-05-05 03:36:15
3	オレンジ	80	150		2020-05-05 03:36:15
2	バナナ	50	100	2020-05-05 03:36:15	2020-05-05 03:36:15
1	りんご	160	280	2020-05-04 16:52:20	2020-05-04 16:52:20
	みかん	170	230		

更新データ

新規データ

「更新日時」は空白にする。「ID」は変更してはいけない。 「ID」「更新日時」「作成日時」は空白にしておく。



IDは、データセット毎に1から自動的に採番されてい く、データを区別する一意な識別番号になります。 データの編集対象はこのIDによって区別されます。

データセット名 *	売上管理
★ 追加オプション設定	
1ページあたりの表示データ数	30
デフォルトのソート順	ID
	○昇順○降順
IDを表示	□有効

IDは通常、非表示になっていますが、 データセットの定義から表示するように 変更することもできます。

さきほどと同じ手順で、CSVファイルをアップロードをしてください。 データが下記のように追加・更新されていれば成功です。

 商品名	仕入金額	金額
みかん	170	230
レモン	70	130
いちご	400	450
グループフルーツ	150	170
オレンジ	80	150
バナナ	50	100
りんご	160	280



集計をしてみましょう

売上を集計するよ。



集計

この章では集計機能を使って、売上管理データセットの集計を行います。

まずは集計の元になる売上データを、CSVでアップロードします。 (アップロード方法は「CSVアップロード」の章を参照してくださ い。) CSVデータはこちらからダウンロードしてください。

https://pigeon-fw.com/sample/earnings.csv

「売上管理」にCSVアップロードを行いましょう。 **少し時間がかかります。**





以下のようにデータが入っていれば成功です。

商品	日時	数量	売上	
みかん	2020年05月06日	1	230	Q 🖉 🟛
りんご	2020年05月06日	8	2240	Q 🖋 🟛
オレンジ	2020年05月06日	2	300	Q 🖋 🟛
グレープフルーツ	2020年05月05日	2	340	Q 🖋 🛍
みかん	2020年05月05日	8	1840	Q 🖋 🛍
グレープフルーツ	2020年05月05日	9	1530	Q 🖋 🛍
みかん	2020年05月05日	1	230	Q 🖋 🟛
グレープフルーツ	2020年05月05日	8	1360	Q 🖋 🛍
いちご	2020年05月05日	4	1800	Q 🖋 🟛
グレープフルーツ	2020年05月05日	8	1360	Q 🖋 🟛
みかん	2020年05月05日	4	920	Q 💉 🟛
 1.0% I I	0000 to 5 0 0 5 0	-		

それでは「集計」を行ってみましょう。 売上管理データセットの「集計」を押します。



集計

以下のように入力します。

①データ項目1:「商品」を選択
②集計項目1の集計方法:「合計値」を選択
③タイトルを「売上合計」に←設定タブから
④集計項目1の項目:「売上」を選択

		フィルタ / 集計
		絞り込み <mark>設定</mark> 集計 項目 行に色を付ける
		タイトル 売上合計 〇 全員に表示
フィルタ / 集計		○ 自分のみ表示
統約33.3 記字 集計 百日 (□ ダッシュボードに表示
取り込め 設定 未前 項目 1	116日、6月17日、6月	
☑ 集訂を使用する	百日·	
データ項目1	商品	
	追加+	
集計百日1 &	集計方法:	項目:
朱訂項日1 🖋	合計	売上
	追加+	
		キャンセル 表示 作存する



★データ項目と集計項目の関係★ 「データ項目毎に、集計項目の集計を行う」と考えてください。りんご -> 売上合計、みかん->売上合計、バナナ->売上合 計・・・といった具合です。



集計結果が以下のように出力されました!

りんご 194040 みかん 192280 グレープフルーツ 141270 オレンジ 110250 いちご 369450 パナナ 79700 レモン 98280	商品	売上合計
みかん192280グレープフルーツ141270オレンジ110250いちご369450パナナ79700レモン98280	りんご	194040
グレープフルーツ141270オレンジ110250いちご369450バナナ79700レモン98280	みかん	192280
オレンジ 110250 いちご 369450 パナナ 79700 レモン 98280	グレープフルーツ	141270
いちご369450パナナ79700レモン98280	オレンジ	110250
パナナ 79700 レモン 98280	いちご	369450
レモン 98280	バナナ	79700
	レモン	98280

集計結果は保存することができます。「フィルタ結果を保存」から 保存しましょう。





集計結果が保存されました。

右上のアイコンから保存した集計を確認することができます。







ユーザーを増やして権限を管理しよう。

複数のメンバーで使えるよ うになるよ。



ユーザー管理

この章ではユーザー管理機能を使って、複数のユーザーで管理が 行えるようにします。まずはユーザー管理の例を見てみましょ う。

マスターユーザーは何でもできますが、ユーザーの場合は閲覧しかで きないように設定をしたいと思います。





ユーザーを登録しましょう。 サイドメニューの「ユーザー」を選択し、追加をします。



名前、メールアドレス、パスワードを入力します。先程作成した権 限グループを設定します。「状態」を有効にします。

ユーザー ▼ ## = ユーザー① ×-ルアドレス = xcoxx@coxx.jp ##5.4 - ルアドレス WEX.9 - 4.0 アレンエは他のきれまず ● WEX.9 - 4.0 アレンエは他のきれまず ● WEX.9 - 4.0 アレンエは他のきれまず ● 000.0000-0000	全て) <mark>+</mark>
## ■ ユーザー① メールアドレス ■ XXXXX(@XXXX(@)) 電話毎年 000.0000-0000	·全て) +
ユーザー① メールアドレス ■ xoxxx @ xxxx(p) 離先メールアドレス RXTしい(Webuトアドレス RXTしい(Webuトアドレス RXTしい(Webuトアドレス RXTしい(Webuトアドレス RXTしい(Webuトアドレス) の 有効 ● 有効 ● 有効	·全て) +
×-ルアドレス ■ xxxxxx @ xxxxx [p #R先メールアドレス #REA# 0000000-0000 アクセス許可IP (設定しない場代 大腰 ※ で の 有効 ● 有効 ● 有効 ● 新効	全て) +
xxxxx@xxxx.jp 建築先メールアドレス #xxtしvi@diuxb/FibixEablehtzy ◆ 電話毎号 000-0000 0000 0000 0000 00000000000000	
<u>温暖先メ−ルアドレス</u> Marcholageta/-ApyPLACEMBERtay ◆ 電話号号 000-0000-0000 (前効)	
000-0000-0000 (無効)	
パスワード ■ なからな実まれません	
pycrUq-0dycfu-bokqo: 強力なパスワード	
pycrUq-0dycfu-bokgo: 強力なパスワード	



権限設定を選択し、ユーザー毎の権限を設定していきま す。今回はマスターユーザーの権限設定を行います。





登録をクリックします。



■ 権限設定一覧 > 詳細		E Caracteria (Caracteria)
詳細情報		
ID	1	
作成者	マスターユーザー	
更新日時	2022-05-12 16:27:17	
作成日時	2021-08-12 22:33:43	
権限	 登 ユーザー 目 組織	マスターユーザー
権限タイプ	ダッシュボード編集権限	
		✔ 編集

マスターユーザーのみがダッシュボードを編集出来る 権限に設定されました



その他便利な機能を 知っておこう。



使用状況(使用容量、ユーザー数)を 確認する

右上のアイコンからシステム利用状況を表示します。



現状使用しているストレージ使用量、ユーザー数が表示されます。



ユーザーの操作ログを確認する

ユーザーの操作ログはサイドメニューから確認することができま す。



確認できるログは以下となります。

ログ	内容
ログ	ログインやデータの操作履歴
CSV UP/DL履歴	CSVアップロード・ダウンロードの 履歴

さらに高度な使い方は下記のマニュアルから 確認頂けます。 https://help.pigeon-fw.com/

ご不明点等あれば、 サポートにお気軽にご連絡下さい。 sales@loftal.jp



https://pigeon-fw.com/cloud

株式会社ロフタル